2018年度SIPS

第1回金流商流情報連携タスクフォース議事録(案)

国連CEFACT日本委員会

一般社団法人ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ情報基盤研究会

1. 開催日時　：　2018年7月24日（火） 14：00～17：00

２．開催場所　：　機械振興会館　6階　6-64会議室

３．出 席 者　： （順不同・敬称略）

　 　 特別会員 菊川　正博 一般財団法人日本貿易関係手続簡易化協会

幹事会員 遠城　秀和 ＮＴＴデータシステム技術株式会社

幹事会員 斉藤　孝平 株式会社ＮＴＴデータ

幹事会員　　 伊原　栄一　 　 株式会社グローバルワイズ

幹事会員　　 藤野　裕司　 　 株式会社データ・アプリケーション

幹事会員　　　 香坂　真人 株式会社JSOL

幹事会員　　　 梶原　俊博 日本情報通信株式会社

幹事会員　　　 井坂　弘介 日本情報通信株式会社

正会員　 　　渡邉　慎弥　 　富士通エフ・アイ・ピー株式会社

正会員　　　　 加藤　重雄　　　パティオシステムズ株式会社

賛助会員　　　 川内　晟宏　　　特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

賛助会員　　　 野田　和巳　　　特定非営利活動法人ITコーディネータ協会

賛助会員　　　 坂本　真人　　　一般財団法人流通システム開発センター

賛助会員　　　 浅田　寿人　　　一般社団法人全国銀行協会

賛助会員　　　 舘　　資規　　　石油化学工業協会

賛助会員　　　 帆足　弘治　　　一般財団法人建設業振興基金

オブザーバー 橋本　　崇 日本銀行金融研究所（TC68）

事 務 局 菅又　久直 一般社団法人ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ情報基盤研究会

事 務 局 斉藤　良一 一般社団法人ｻﾌﾟﾗｲﾁｪｰﾝ情報基盤研究会

出席者19名

４．議事概要

2018年度第1回金流商流情報連携タスクフォースは、今年度の委員の自己紹介及びリーダーの選任を行い、以下の議事を実施した。

（資料：金流商流情報2018-1-01　第1回金流商流情報連携TF議事次第）

４－１．2017年度金流商流情報連携タスクフォース委員紹介およびリーダーの選任

　・本日出席の委員による自己紹介（19名）

（資料：金流商流2017-1-02　金流商流情報連携 TF委員名簿）

　・リーダー（委員長）は事務局推薦の遠城秀和氏が全会一致で選任された。

４－２．2018年度金流商流情報連携タスクフォース活動計画

　事務局菅又より今年度の活動計画の説明があった。

（資料：金流商流2018-1-03　2018年度金流商流情報連携TF活動計画）

・１つ目は、金流商流情報連携基盤の推進で内容は次の3点

　　①実証プロジェクトへの金融EDI導入促進を技術面で支援する。

　　　決済関連メッセージの情報項目整備・・・本日決めて頂きたい。

　　②企業への金融EDIシステムとのインターファイス導入促進の支援は商流情報の取込み方のガイドを作成する。・・・本日概要説明する。

　　③商流メッセージの登録手順を整備してWEB公開する。

・2つ目は、金流商流情報の利活用分野の調査で次の2点

1. 全銀ネットが進めるXML電文移行による新システムを活用した、金流商流情報連携の可能性調査を行う。（CCC、貿易運輸料金決済その他）

　　②税制等の新しい動きへの対処方法を検討する。（軽減税率制度その他）

・今年度のスケジュールは以下の予定で行う。



【補足説明】

2‐①の貿易運輸料金決済のZEDI接続実証に関しては、実証プロジェクト活動は予定していない。実ビジネスとしての対応になる。従って現時点では実施するか否か未定である。

（遠城）

４－３．SIPS支払通知メッセージ

　事務局菅又より、SIPS支払通知メッセージの情報項目に関する説明と追加項目に関する検討が行われた。

（資料：金流商流2018-1-04　SIPS支払通知メッセージ）

・支払通知メッセージの情報項目は、税制等の変更に対処するため追加の要請を行う。当資料にてマスク部分が追加したい項目である。8月に国連CEFACTに追加申請したいので本日検討をお願いする。（菅又）

【質疑・意見】

⇒請求書のどこで使うかの議論と思う。資料：税関係のBIE（抜粋）の請求書関連を見て頂きたい。（遠城）

⇒資料：1‐07の適格請求書の記載事項①～⑥を遵守する必要がある。これを反映することになる。（遠城）

⇒軽減税率については、H31年10月からの対応とH35年10月からのインボイス制度対応と大きく2つある。まずは前期の対応を急ぐべきと考える。（斉藤孝）

⇒請求書には業界や企業によっていろいろのパターンがある。国税庁も含めて良く詰めないと結論は出せない。請求書なしの場合、支払い通知での対応も契約情報などに承諾条件の記載があればOKという回答を得ている。国税庁のHPには多くの事例が載っているので参考にする必要がある。また、SIPSの立場（このタスクフォースは）としては、特定の業界を対象とした検討する場ではないですね？。（坂本）

⇒国税庁のHPでは、Q&Aを載せている。これをよくブレークダウンして項目をきめる必要がある。（川内）

⇒請求書の税項目BIEとして、Trade Settlement. Applicable. CI\_ Trade\_ TaxとTrade Settlement. Subtotal\_ Calculated. CI\_ Trade\_ Taxというのがある。この両方を支払通知でも使えるようにすべきと思う。（遠城）

⇒両方を分ける使い方がわからない。中小企業用には、どちらか一方にしていただきたい。（川内）

【結論】

これまでの議論、意見を踏まえて今日の結論は次の通りとする。（菅又）

1. CI\_Trade\_Tax にBBIE「税込み金額」の追加申請を行う。
2. 「法人番号」とは別に「適格請求書発行事業者登録番号」が記載できるように検討する。また、当該情報をTrade AgreementのSeller / Buyerで扱うか、Trade SettlementのInvoicee / Invoicerで扱うべきか再度検討する。
3. 支払通知メッセージにも請求書と同様になるようTrade Settlement. Subtotal\_ Calculated. CI\_ Trade\_ Taxを国連CEFACTに追加要請する。ただし、国内向け業界横断EDI仕様には追加しない。

（休憩　10分）

４－４．導入ガイドの説明

　次に、本日配布の「SEのための企業側ISO20022メッセージ導入ガイドライン（第0.2版）の説明が遠城リーダーから行われた。

・全体構成について

　1章～6章の200ページ超えとなった。

・目的は、全銀EDIシステムの接続にXMLの国際標準を取り込んでより汎用的により効率的に行えるように、システム開発者を支援するものである。

・対象者は、Javaプログラム言語を理解しているSEで、国際規格のXMLをデータ記述言語としたISO20022に不慣れな方。

・具体的な作り方や読込み方についての説明があったが、詳細は資料を参照のこと。

【結論】

１．導入ガイド（全文版）をSIPSの金流商流情報連携タスクフォースの委員に送る。

２．メンバー各社のシステム開発者にレビューして頂く。

３．当ガイドの公開方法は今後検討する。

５．次回のタスクフォース開催日程

　次回のタスクフォース開催日程を決めた。

◆第2回金流商流情報連携タスクフォース

　　期日：2018年9月26日（水）14時‐17時

　　場所：機械振興会館　6階6-62会議室

以上

配布資料一覧：

金流商流2018-1-01　第1回金流商流情報連携TF議事次第

金流商流2018-1-02　金流商流情報連携 TF委員名簿

金流商流2018-1-03　2018年度金流商流情報連携TF活動計画

金流商流2018-1-04　SIPS支払通知メッセージ

金流商流2018-1-05　決済情報管理モデルプロジェクト状況

金流商流2018-1-06　軽減税率制度（国税庁）

金流商流2018-1-07　適格請求書保存方式（国税庁）

（追加配布資料）

　　　１：税関係のBIE（抜粋）

　　　２：SEのための企業側ISO20022メッセージ導入ガイドライン（第0.2版）